



2017年度第2四半期 決算説明(総括)

2017年8月9日

株式会社 クラレ

2017年度上期実績①

[億円]

当期

前年同期

増減

売上高

2,513

2,441

+ 72 (+3.0%)

営業利益

375

346

+ 29 (+8.3%)

経常利益

363

337

+ 26 (+7.7%)

親会社株主に帰属
する当期純利益

240

224

+ 16 (+7.2%)

参考

円/ドル

112

112

円/ユーロ

122

125

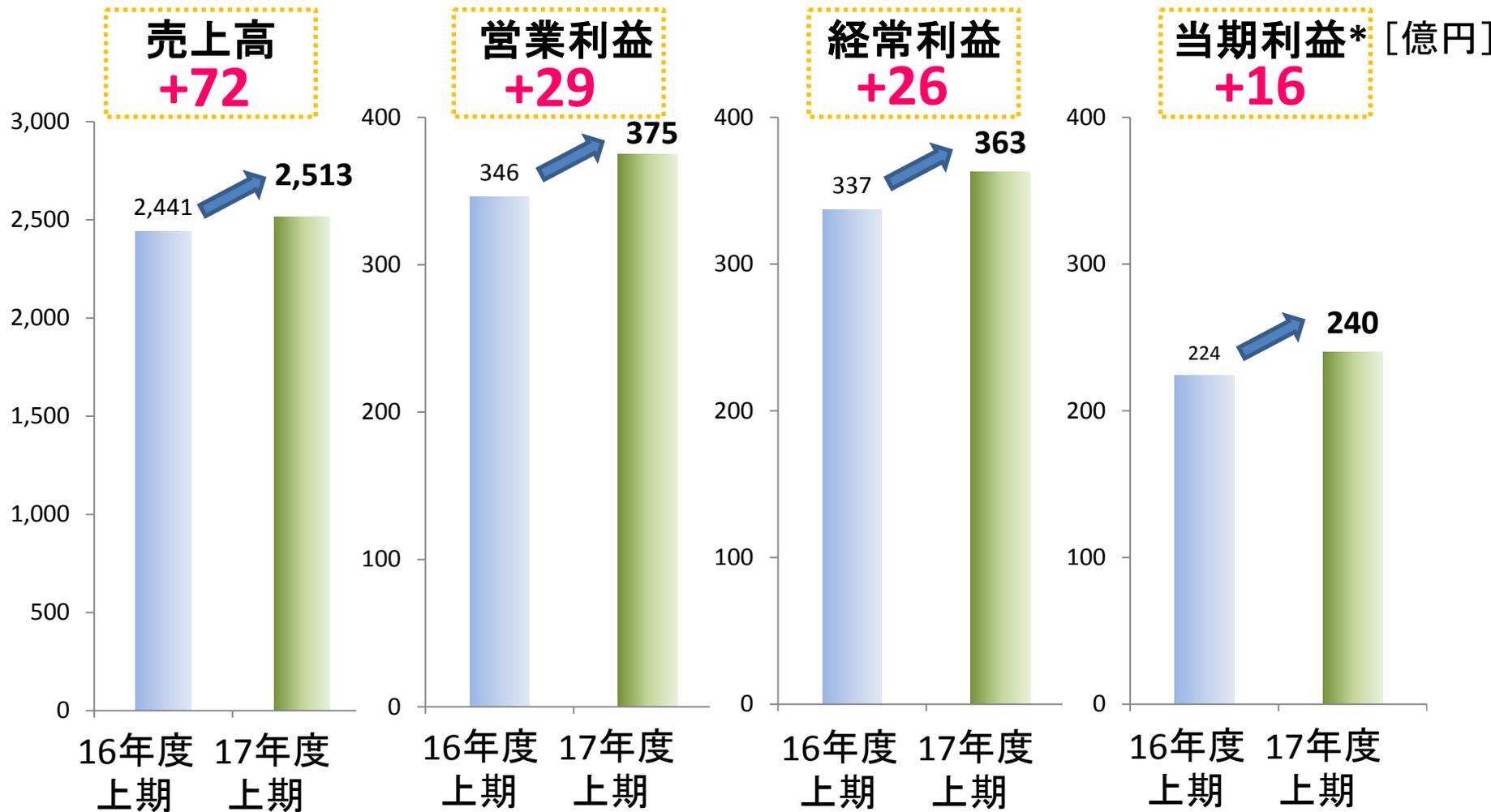
国産ナフサ価格
(千円/kl)

40

33

2017年度上期実績②

営業利益、経常利益、当期利益*とも過去最高を更新



*親会社株主に帰属する当期純利益

2017年度上期の主要施策実績

「GS-STEP」の主要経営戦略に基づき下記の施策を実施

コア事業の深耕

- ◆ ポバール樹脂、北米工場の生産安定化およびグローバルでの最適生産の検討開始
- ◆ 光学用ポバールフィルム+20百万㎡/年 設備稼働開始(西条事業所)
- ◆ 水溶性ポバールフィルムの米国における生産能力増強を決定
→2018年上期稼働開始予定

技術革新

- ◆ フィルム製品の原料樹脂開発により高機能化を推進

次世代成長モデル

- ◆ 炭素材料事業は、事業拡大に向けた事業基盤の整備に取組中

経営資源の最適配置

- ◆ グローバルSAPシステムの導入
→年内運用開始予定
- ◆ グローバル人事システム
→2017年1月運用開始

2017年度通期業績予想

	今回予想	前回予想 (5月11日公表)	増減
売上高	5,300億円	5,300億円	—
営業利益	750億円	700億円	50億円
経常利益	730億円	680億円	50億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	460億円	420億円	40億円

原燃料・為替前提

国産ナフサ／kl

ドル(平均)

ユーロ(平均)

通期 (下期想定)

42千円 (43千円)

111円 (110円)

121円 (120円)

通期 (下期想定)

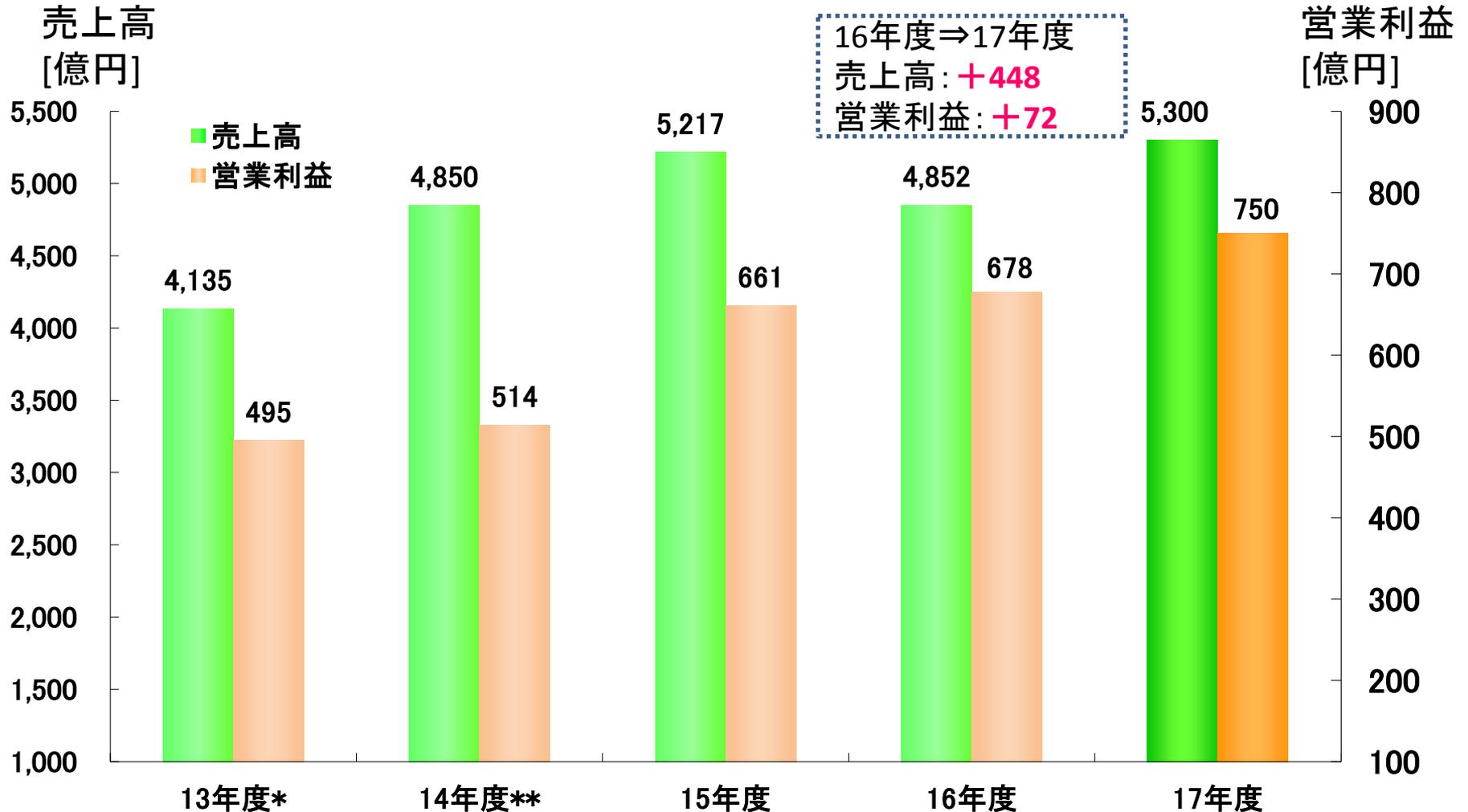
43千円 (43千円)

111円 (110円)

121円 (120円)

売上高・営業利益推移

売上高、営業利益とも過去最高を更新



*13年度は4月から翌年3月までの数値

**14年度は1月～12月に補正した数値

17年度の株主還元について

■GS-STEP期間中の利益還元

総還元性向35%以上

一株当たり配当金36円以上

中間配当:20円(期初予想:20円)

■年初配当予想

42円/株予定

(中間:20円、期末:22円)



2017年度第2四半期 決算説明

2017年8月9日

株式会社 クラレ

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2017年度 上期		2016年度 上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,285	313	1,286	294	▲1	19
イソプレン	280	41	260	40	20	1
機能材料	346	34	339	20	7	14
繊維	264	29	239	30	25	▲1
トレーディング	627	19	591	19	36	0
その他	237	14	222	6	15	8
調整額	▲526	▲76	▲495	▲62	▲31	▲14
合計	2,513	375	2,441	346	72	29

2017年度上期主要事業概況

ポバール樹脂	米国を中心に販売量が増加し、順調に推移
ポバールフィルム	光学用ポバールフィルムは販売量が増加。また、2017年度上期より西条の新設備が稼動を開始。水溶性ポバールフィルムは個包装用途を中心に好調に推移
PVBフィルム	高付加価値品の拡販が進んだ
<エバール>	自動車ガソリンタンク用途、食品包装用途ともに販売量が拡大
イソプレン	ファインケミカル、<セプトン>及び液状ゴムは原燃料価格変動の影響を受けたものの、堅調に推移
<ジエネスタ>	自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも数量が伸長し、順調
メタクリル	主に樹脂の数量が伸長したことに加え、好市況を背景とした収益の改善により、好調に推移
メディカル	歯科材料のジルコニア系新素材が順調に推移
<クラーノ>	既存プロセス品、新プロセス品ともに順調に推移
炭素材料	活性炭の高付加価値品の輸出が増え、順調に推移
繊維	ビニロンの数量が拡大したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。生活資材は堅調に推移

2017度上期キャッシュフロー

[億円]

	2017年度 上期	2016年度 上期	増減
営業CF	398	398	0
投資CF*	▲299	▲254	▲45
フリーCF*	99	144	▲45
M&A	—	—	—
設備投資(受入ベース)	255	242	13
減価償却費 (のれん償却費込み)	203	200	3
研究開発費	102	97	5

*投資CF、フリーCF:運用資金、M&A関連を除く

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	17年6月末	16年12月末	増減
流動資産	3,342	3,250	92
固定資産	4,037	4,005	32
資産合計	7,379	7,254	125

＜参考＞期末日為替レート

	17.6末	16.12末
円／ドル	112	116
円／ユーロ	128	123

貸借対照表②(負債・純資産の部)

[億円]

	17年6月末	16年12月末	増減
流動負債	905	961	▲56
固定負債	1,109	1,083	26
負債合計	2,014	2,044	▲30
純資産合計	5,365	5,210	155
負債・純資産合計	7,379	7,254	125

＜参考＞期末日為替レート

	17.6末	16.12末
円/ドル	112	116
円/ユーロ	128	123

2017年度業績予想

[億円]

	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績	増減
売上高	5,300	4,852	448
営業利益	750	678	72
経常利益	730	662	68
当期純利益	460	404	56
1株当たり当期純利益	130円71銭	114円98銭	15円73銭
1株当たり配当	42円	41円	1円
設備投資(決定ベース)	583	489	94
設備投資(受入ベース)	573	536	37
減価償却費(のれん償却費込)	425	416	9
研究開発費	210	198	12

営業利益増減分析

2017年度上期

375億円

数量	10
操業度	45
売値・銘柄構成	15
原燃料(為替影響除く)	▲30
為替	0
償却費(のれん償却費込)	▲3
経費その他	▲8



2016年度上期

346億円

原料及び為替

	16年度上期	17年度上期
国産ナフサ／kl	33 千円	40 千円
ドル(平均)	112 円	112 円
ユーロ(平均)	125 円	122 円

営業利益増減分析

2017年度

750億円

数量	25
操業度	95
為替	5
売値・銘柄構成	45
原燃料(為替影響除く)	▲70
償却費(のれん償却費込)	▲9
経費その他	▲19



2016年度

678億円

原料及び為替

	16年度	17年度
国産ナフサ／kl	33 千円	42 千円
ドル(平均)	109 円	111 円
ユーロ(平均)	120 円	121 円

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2017年度 通期予想		2016年度 通期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,720	635	2,532	585	188	50
イソプレン	570	85	511	69	59	16
機能材料	730	65	680	45	50	20
繊維	520	55	486	60	34	▲5
トレーディング	1,280	40	1,195	38	85	2
その他	540	25	463	14	77	11
調整額	▲1,060	▲155	▲1,014	▲133	▲46	▲22
合計	5,300	750	4,852	678	448	72

【トピックス】 <MonoSol社 - 水溶性ポバールフィルム>

成長続ける個包装液体洗剤用途で圧倒的NO1シェア

2014 - 2017年
グローバルな事業統合推進
クラレの水溶性フィルム事業を統合

2018年設備増強
(予定)

更なる
グループ経営資源の投入、
グローバルな事業成長へ

2016年設備増強

2014年設備増強

2013年設備増強

2012年
MonoSol社買収

PVA樹脂のサプライチェーンを生かし、競争力を強化
◆ 原料樹脂からの一貫した研究開発

水溶性フィルム
事業強化

需要の拡大

- ◆ 洗濯機、自動食洗機用洗剤用途の市場浸透率UP、地域的広がり
- ◆ 工業用途、ホームケア市場での新規用途開発



【トピックス】 <MonoSol社 - 水溶性ポバールフィルム>

米国インディアナ州での設備増強決定

- グローバルな市場拡大に対応し、今後の戦略的立地も検討 -

- ◆ 目的：個包装洗剤および新規用途の需要拡大に対応
- ◆ 立地：米国 インディアナ州 ポーティジ (Portage)
- ◆ 今後の計画：消費地生産・供給実現のため、欧州、アジアでのプラント新設も検討



- 用途: 工業用途、ホームケア製品分野などの新規用途の開発推進
- 顧客: 顧客との連携、共同開発により既存製品の市場普及率の拡大
新興国市場へのマーケティング強化



【ご参考】 2017年度上期実績・下期予想

[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,285	1,435	2,720	313	322	635
イソプレン	280	290	570	41	44	85
機能材料	346	384	730	34	31	65
繊維	264	256	520	29	26	55
トレーディング	627	653	1,280	19	21	40
その他	237	303	540	14	11	25
調整額	▲526	▲534	▲1,060	▲76	▲79	▲155
合計	2,513	2,787	5,300	375	375	750

【ご参考】

セグメント別売上高

[億円]

	2017年度 通期予想		2016年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	1,285	1,435	1,286	1,246	▲1	189
イソプレン	280	290	260	251	20	39
機能材料	346	384	339	341	7	43
繊維	264	256	239	247	25	9
トレーディング	627	653	591	604	36	49
その他	237	303	222	241	15	62
調整額	▲526	▲534	▲495	▲519	▲31	▲15
合計	2,513	2,787	2,441	2,411	72	376

【ご参考】

セグメント別営業利益

[億円]

	2017年度 通期予想		2016年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	313	322	294	291	19	31
イソプレン	41	44	40	29	1	15
機能材料	34	31	20	25	14	6
繊維	29	26	30	30	▲1	▲4
トレーディング	19	21	19	19	0	2
その他	14	11	6	8	8	3
調整額	▲76	▲79	▲62	▲70	▲14	▲9
合計	375	375	346	332	29	43

未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。